

市内の色々な相談場所

市内には、暮らしの中で困っていることや相談したい内容に合った、いろいろな相談場所があります。困っていることや相談したいことがあれば、1人で悩まず、まずはいろいろな場所に相談しましょう。

◆高齢者の福祉サービスや生活などの相談は

- 彦根市 介護福祉課 【電話】 23-9660 【ファックス】 30-9231
- 地域包括支援センター「すばる」 【電話】 24-0494 【ファックス】 24-0408

◆子ども・子育ての保健・福祉サービスや生活などの相談は

- 彦根市 健康推進課 【電話】 24-0816 【ファックス】 24-5870
- 彦根市 子育て支援課（家庭児童相談室） 【電話】 26-0994 【ファックス】 26-1768
- 彦根市 子ども若者課 【電話】 49-2251 【ファックス】 26-1768

◆障がいのある子・人の福祉サービスや生活などの相談は

- 彦根市 障害福祉課 【電話】 27-9981 【ファックス】 26-1767
- 発達支援センター 【電話】 47-3445 【ファックス】 24-7886
- 基幹相談支援センター
ステップアップ21（障がい児・者全般） 【電話】 35-0008 【ファックス】 35-0021

◆どこに相談すればいいかわからないときは

- 彦根市社会福祉協議会 心配ごと相談 【電話】 22-0294 【ファックス】 22-2841
- または、お住まいの地域の民生委員さんにご相談ください



数字でみる佐和山学区の『今』


《人口の構成》

※2015年と2021年を比較しました

人口	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
2015年	542人	1402人	2363人	3204人	1847人	9358人
2021年	419人	1505人	2224人	3430人	2172人	9750人

《世帯数や高齢化率等》

世帯数	3917 → 4333	高齢者のみの世帯数	808 → 1010
高齢化率	19.7% → 22.3%	1人暮らし高齢者数	432人 → 567人

この計画書は、 「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています

佐和山学区住民福祉活動計画（愛のあるまち佐和山～ふれ愛・たすけ愛・つながり愛）

策定：佐和山学区住民福祉活動計画策定プロジェクトメンバー

編集・発行：社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670彦根市福祉センター別館1階

【でんわ】 (0749)22-2821 【ファックス】 (0749)22-2841

【ホームページ】 <http://www.hikone-shakyo.or.jp>

佐和山学区住民福祉活動計画

この計画は2022（令和4年）度から2026（令和8年）度の間で取り組むものです。

愛のあるまち佐和山

『ふれ愛・たすけ愛・つながり愛』



策定までのあゆみ

この計画指針を作成するために、17人のメンバーで計9回の懇談会を開催しながら学区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合ってきました。今後は、この計画の指針に地域の方々の意見を取り入れながら、実際の活動に取り組んでいきます。

この計画にかかわった関係機関

第一次計画策定メンバー所属機関に加え、学区子ども会指導者連合会（佐子連）学区体育振興会（体振）、消防第5分団、保護司、地域包括支援センターなど、幅広い関係機関員が集い計画を策定しました

地域で暮らす住民同士のつながりが希薄になってきたといわれる今だからこそ、互いに「ふれ愛・たすけ愛・つながり愛」で思いやりのある住みよいまちを作りましょう！
テーマにはそんな想いが込められています。歴史ある地域に住む私たちが、子どもから高齢者まで多世代で「愛のあるまち佐和山」を考え行動していきましょう！

ふれ愛

多世代交流
ニュースポーツ
お祭り・模擬店

地域の人みんなで「ふれ愛」を大切に、楽しく活気にあふれるまちを作りましょう。



たすけ愛

子ども・高齢者の見守り
防犯地域の見まわり
小さなお手伝い

地域の人みんなで出来ることを持ち寄って「たすけ愛」のまちを作りましょう。



つながり愛

福祉サロン
子ども食堂
防災訓練

地域の人みんなで「つながり愛」お互いに顔の見えるまちを作りましょう。



こんな意見が出ました

- ◆地域コミュニケーションが希薄化してきている。 ◆自治会の未加入や自治会間の年齢構成の違いもある。
- ◆諸団体・年齢関係なくつながって、小さなイベントから始め、楽しみながら継続していけるといいな。その中で次世代のリーダーが育っていくのでは・・・ ◆ゆる～くならつながりやすいよね。
- ◆消防団員は人員不足。 ◆災害時の対応をみんなで考えていけるといいな。
- ◆住民福祉のベースとなる自治会活動を、学区の各団体がサポートできないかな。
- ◆下校時の見守りも大切なので、地域で協力して見守りできるといいよね。
- ◆自然災害・感染症予防・少子高齢化・SNS依存への対策も必要だよね。
- ◆住民全員へ必要な情報が届く工夫が必要だね。

